

大学自己評価部会だより

第17号 (平成22年5月)

● 教育研究目標 ●

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

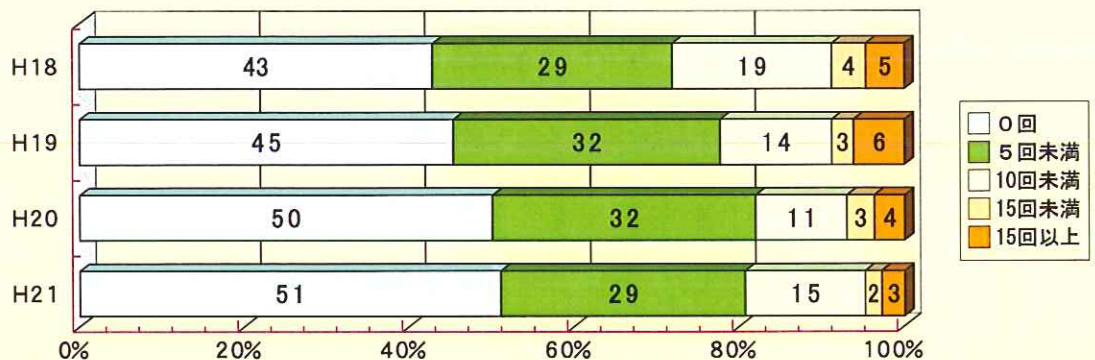
アンケート調査結果を報告

平成21年度末に第4回目のアンケート調査が行われました。心身の健康や自主学習などについて、平成18年度・平成19年度・平成20年度・平成21年度の4年間を比較しました。

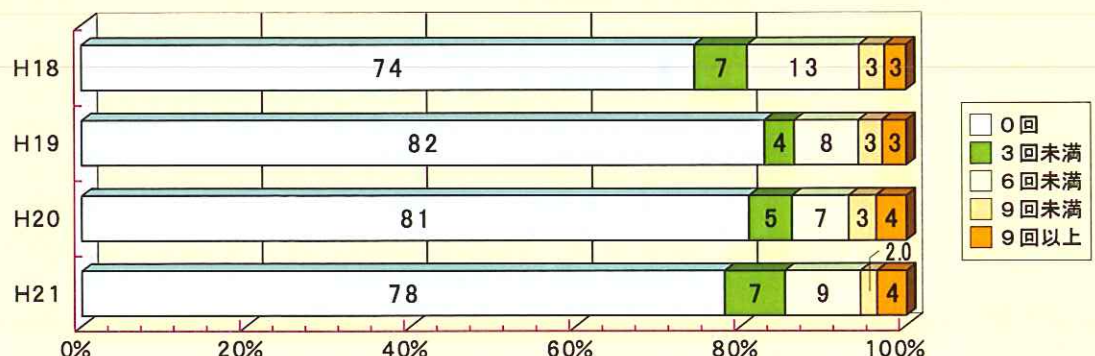
健康に関する相談室の利用状況

健康管理室の利用者は、平成18年度以降少しずつですが減少傾向にあります。それに対し1度でもカウンセリングを受けたことのある割合は平成19年度以降、少しずつ増加傾向にあります。

Q 本学の健康管理室を利用したことがありますか。



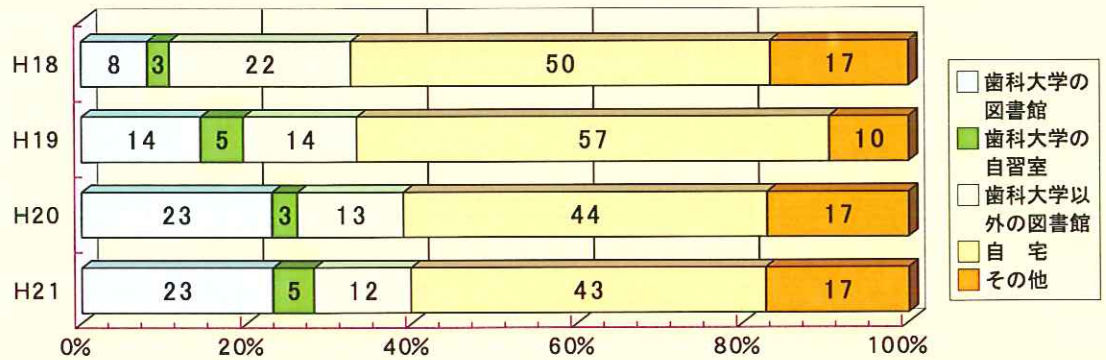
Q 本学でカウンセリングを受けたことがありますか。



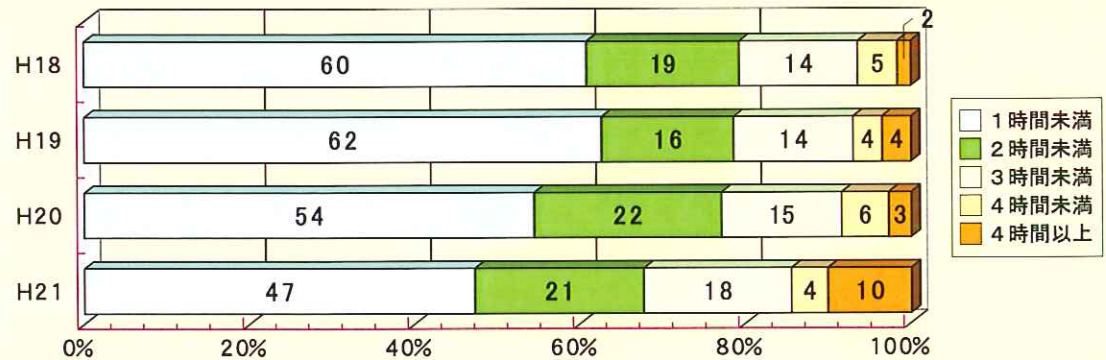
自主学習

平成18年度～20年度と増加してきた本学図書館の利用率の伸びが、止まりました。自習室の利用は昨年度に比較して伸びましたが、依然として低い割合です。1日の自主学習時間は「4時間以上」の割合が非常に増加しました。これは、国家試験を控えた6年生における「4時間以上」の割合が、過去3年間7%以下であったのに本年度40%に急増したことによります。

Q 土日・祝祭日など、大学が休みの時の自主学習は主にどこを利用しますか。



Q 試験勉強を除くあなたの自主学習時間は、1日平均何時間ですか。



学生のニーズの把握

平成19年度以降ほとんど変化が見られず、多くは「どちらともいえない」と判断しています。しかし、ニーズを「把握していない」と思う割合は「把握している」と思う割合の約2倍に達しています。

Q 本学として、生活面での皆さんのニーズを適切に把握していると思いますか。

